

市政刷新



山積する市政の課題に取り組みながら時間の経過が年々早くなるように感じます。自身の処理能力をもっと上げなければ…干支を数えれば4度目の年男、議員活動は16年目を迎えます

正論を市政に! 調たかし 福岡市議会議員(城南区)

【発行者】
福岡市議会議員 調崇史 (自由民主党 福岡市議団)

七隈線の混雑緩和を急げ

地下鉄七隈線の沿線にお住まいの皆さまからは、優先席の利用ができないこと、過度の混雑で窮屈な思いをされていることなど、これまでも厳しいご意見を伺っており、市に対して増便などの対応を求めてきました。令和7年の暮れに報道されましたが、車内混

雑の抜本的な改善に向けて、市は4両編成で運行されている現在の車両を6両編成へと改める考えを示しました。6両編成化については、令和5年6月議会の私の一般質問で市に提案したのもあり、引き続き早急な実現を求めています。

構造上はすぐに実現できる

現在、地下鉄七隈線の各駅のホーム両端には写真のような壁があります。この壁は、駅の構造上は特に重要ではない「仕切り」のようなものであり、取り払えばその先にもホームが続いています。つまり七隈線はもともと、6両編成での運行が可能のように設計をされていた。令和5年の質問準備の際にそのことを知

たときは、先人たちの深慮と英知に触れたような気がして、大変感慨深い思いがしたものです。車両を買いさえすれば、6両編成化はすぐにできます。



【壁の向こうにホームが続く】

延伸の検討よりも優先すべき課題

6両編成化の話題と合わせて、「博多～福岡空港国際線」「橋本～姪浜」などの延伸案について、市長が検討していることも報道されました。このうち国際線への延伸については、私自身は否定的な考えをもっています。七隈線は建設費をおさえるために、空港線やJR、西鉄の車両よりも小さな規格の車両が採用されてい

ます。大型のキャリーケースを抱えた旅客の輸送には適していません。理由は他にもありますが、ご高齢の方や体の不自由な方から悲鳴が聞かれる現状の混雑解消を優先するため、延伸の議論は一旦置いて、6両編成化の先行実施を求めたいと思います。

産業政策の大転換点を迎える中で

① 半導体設計企業の誘致

台湾の半導体製造大手TSMCが熊本県に進出し、菊陽町一帯に一台製造拠点を築きつつあります。シリコンアイランド・九州の復権が進む中で、これから福岡市に集積することが期待されるのが、半導体の設計分野です。これらの企業は多くが製造拠点を持たないことから「ファブレス企業」と呼ばれますが、代表的な例としては世界一の株式時価総額を誇るアメリカのA I 半導体設計企業、エヌビディアがあります。これらファブレスの成功は、あらゆる身近な電化製品はもちろん、自動運転の性能向上、

さらには宇宙空間の活用の可能性を広げることなどを通じて、国民の生活向上につながる可能性があります。私は過去2回の議会質問の機会に、産学官を挙げたファブレス企業の誘致について、強く要望をしました。令和8年度予算ではこの分野の企業に絞った立地交付金の拡充が実現する見通しです。我が国の産業政策が大きな転換点を迎える中で、その動きに呼応し、先取りをして、都市の新たな成長に向けた原動力を育てなければなりません。

② 工業高等専門学校の新設

理系人材の需要が高まる中、福岡市立博多工業高校(城南区)に工業高等専門学校(高専)を併設する検討が進められています。現在までに市教委からは、博多工業の学科を一部再編し、1学年80人程度の定員で高専の生徒を募集、高専の4～5年次にあたる専門課程は、早良区百道浜の市有施設を活用して授業を行う考えが示されています。ゲームやソフトウェアなどのIT企業が多く立地する福岡市で、これらの産業を支える人材を輩出することを目指すものと見られますが、私はこの構想に賛同しながらも、さらに積極果敢な人材育成

に取り組むべきだという立場で意見を述べています。先述した半導体設計の人材を育てることもその一例です。この分野の先進的な教育には一般論として多額の費用がかかりますが、既に福岡市に進出している台湾の設計企業と連携した教育カリキュラムの構築や、大学・企業などからの講師陣の獲得など、民間の活力と福岡市の地の利をいかしたチャレンジが可能だと思います。現在も貴重な理系人材を輩出している博多工業高校の評価をさらに高めながら、高度先進人材の育成を進められるように、関わっていきたくと思っています。

調崇史 プロフィール

- 1978年 4月17日 福岡市生まれ
- 1991年 七隈小学校卒業
- 1994年 梅林中学校卒業
- 1997年 修猷館高校卒業
- 2002年 九州大学法学部卒業
TNCテレビ西日本入社
- 2010年 同社退社
- 2011年 福岡市議会議員 初当選
- 2026年 現在4期目
(保護司・消防団員・花みずき通り商店会相談役)

47歳



WEBサイトで情報発信中!!

調たかしの日々の活動の様子を紹介しています。また、オフィシャルサイトからは市政に対するご意見をお送りいただけます。ぜひ皆さまの声をお聞かせください!

調たかし www.t-shirabe.net/

調たかし 事務所 ぜひ、お気軽にお立ち寄りください!

〒814-0133
福岡市城南区七隈7-5-27 ドミールハウス1F
※市営地下鉄 七隈駅から徒歩約2分
【TEL】092-834-9984
【FAX】092-834-9983
mail: info@t-shirabe.net



■ オンデマンド交通「チョイソコ」は週6日運行へ

ご高齢の方々のお出かけに役立てて頂こうと、令和5年から試験的に運行されてきた「チョイソコ」が令和8年度から本格導入されることとなり、内容が拡充されます。金山・七隈・片江校区など城南区南西部のエリアでは、これまで、火・木・土曜など週3回の運行だったものが、今後は日曜・祝日と年末年始を除いた週6日間の運行になります。また同エリアでは、新たに南片江校区にサービスが拡充され

ることになりました。福岡市はチョイソコの本格導入にあたって、スポンサー収入と運賃収入などの事業採算性に一定の目標値を設ける考えを示しています。他のエリアに先行してサービスが始まる城南区南西部の皆さまには、ぜひとも積極的なご利用をお願いします。



● チョイソコふくおか 会員登録方法

1. 書面にて登録する場合

「チョイソコ会員登録申込書」に必要事項を記入し郵送します。後日、会員証が届きます。



※「チョイソコ会員登録申込書」はチョイソコふくおかホームページからダウンロードいただけます。

2. インターネットにて登録する場合

チョイソコふくおかインターネット受付ページの「利用者登録」に必要事項を入力してください。利用者番号を記載したメールが配信されます。

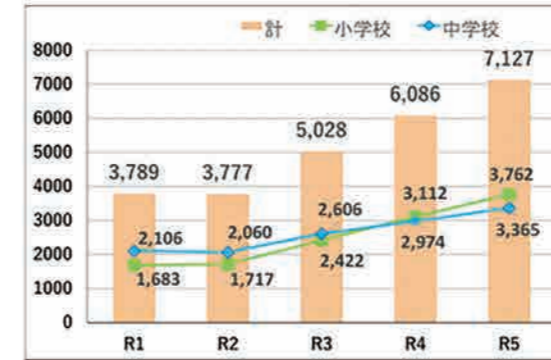


チョイソコふくおか 検索

■ 国が無償化方針～「給食費」はどこに?～

福岡市は令和7年8月から小・中・特別支援学校での給食費の無償化に踏み切りました。これまで保護者が負担していた食材費を、市が肩代わりするものです。一方で、国は令和8年度から小学校の給食の無償化に向けて、児童1人あたり5200円を、国と都道府県が予算措置することを決めました。これにより、福岡市では市が肩代わりしていた食材費のうち、小学

生向けの30億円程度が、教育費の中で「浮く」こととなります。私はこれらを、数多くの課題を抱える学校現場の対応力向上をはじめ、不登校などの長期欠席、いじめ対策など、教育の課題解決にしっかり充てるべきことを強く主張し、あらゆる機会を捉えて教育委員会に訴えてきました。給食費の行方は、令和8年度予算の最大の注目点になると考えています。



【長期欠席児童生徒の推移】

項目	人数 (昨年度比)
病気	1,264 (+438)
経済的理由	0 (± 0)
不登校	5,177 (+777)
その他	686 (-36)
合計	7,127 (+1,041)

【長期欠席児童生徒の内訳】

■ 実現に向けて大きく前進～西鉄貝塚線と地下鉄箱崎線の直通運転～

一昨年から昨年にかけて、議会で実現を求めてきた西鉄貝塚線と地下鉄箱崎線の直通運転化について、市が検討に前向きな姿勢を示し始めました。長年にわたって全く前進しなかった課題を大きく前進させることができたこと密かに自負しています。とりわけ、貝塚線のラッシュ時の車内混雑は、普段から七隈線に乗り慣れている私でも耐えがたく感じるレベルです。直通運転の実現と併せて、貝塚線は現状の2両編成よりも多い編成となることが確実視されています。

一日も早い実現に向けて、今後も市への働きかけを続けます。



【貝塚線から箱崎線に乗り換える人たち】

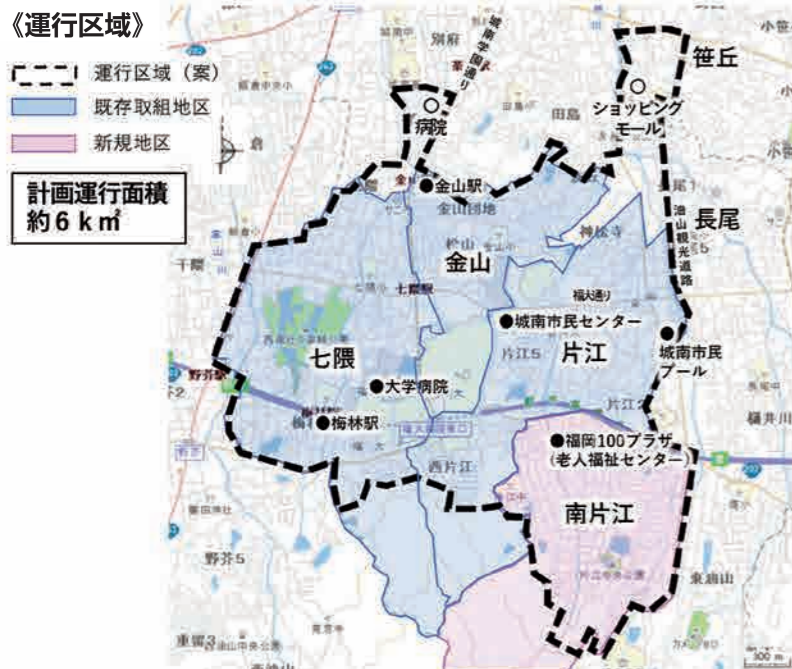
◆ エリア④城南区（片江・金山・七隈・南片江校区）

※福岡市作成資料を転載

① 運行計画案（運行区域）

○ 運行計画素案や事業者提案を踏まえ、**運行区域を、取り組む4校区にイオン笹丘等を追加した、以下のような、運行計画案（運行区域）**とし、関係者間で調整を進める。

■ オンデマンド交通は、「区域運行」という区分で、国への申請にあたり**運行区域を決定しておく必要あり**。（個別停留所は、エリア内であれば新設等が可能）



《運行区域（町丁目）》

【福岡市】
「片江・金山・七隈・南片江校区」
 神松寺1～3丁目、西片江1・2丁目、片江1～5丁目、友丘4～6丁目、松山1・2丁目、金山団地、七隈3～8丁目、梅林1～5丁目、干隈1・2丁目、大字梅林、南片江1～6丁目、堤2丁目、東油山2・3丁目、大字片江

【その他】
 笹丘1丁目、友泉亭、友丘2・3丁目、長尾1・5丁目、茶山5丁目

※上記のうち社会実験から追加する町丁目（南片江等）
南片江1～6丁目、堤2丁目、東油山2・3丁目、大字片江、茶山5丁目

福博そうつく記 vol.19

配る福祉はやめたのに!?

ここ数年の福岡市の子育て支援策は、おおむね好意的に受け止められているように感じます。子どもが生まれればオムツをくれる、家計に余裕のない世帯には、子どもの習い事を支援してくれる、給食費は無償化される…等々。ですが、ほんの数年前の福岡市は「配る福祉から支える福祉へ」といった勇ましい標語を掲げて、それまで88歳や100歳などの節目に贈られていた敬老祝い金を、平成29年に廃止しました。そして数年たっ

たいま、子育て支援の名目で盛大に「配る福祉」を展開しているように見えます。最近では、全国の自治体が独自の子育て支援策の内容を競い合うような風潮があります。評価は分かれると思いますが、私は少し行き過ぎているように感じています。世代をまたいだ不公平感が醸成されてはいないだろうか!?子育てが終わった人たち、あるいは子どもや家庭を持たない人たちの目に、どう映っているだろうか!?そんなことが気になりながら、バランスの取れた福祉施策について、色んな方にご意見を伺っているところです。妙案をお持ちの方はぜひ、声をお寄せ頂ければと思っています。